

科目名	公共政策論	担当者	水戸 克典	部別	第一部	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------	----	-----	----	----	-----	---

【授業概要】

授業目的	本講義では、政治の表舞台・裏舞台において活動する政治的アクターの組織と機能について触れつつ、実際の公共政策を事例として取り上げ、その形成過程、及びわが国における公共政策の現状と課題について検討します。		
到達目標	公共政策に関する基礎的な知識を習得しつつ、わが国における政策過程や公共政策の特質や課題について、自分の言葉で説明できるようになることを目指します。		
履修条件	特にありませんが、日本の公共政策に関心のある学生の履修を望みます。 ※公共政策学科の必修科目です。		
授業方法	講義		
準備学習	授業中に取り上げる文献について、事前・事後に目を通すことが必要です。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	定期試験	80%	
	平常評価	20%	授業時間中に、毎回小テストを実施します。
教科書	『議会政治（第3版）』慈学社出版		
参考書	授業中に適宜指示します。		
オフィスアワー	金曜日 12:15～12:55 ※事前にメール等で必ず連絡・予約してください。		

【授業区分】

区分	授業内容
1	授業ガイダンスー「公共政策」とは何か
2	国家の役割と公共政策
3	公共政策と議会（1）
4	公共政策と議会（2）
5	公共政策と政党
6	政府と官僚制
7	利益集団の圧力活動
8	政策過程のモデル
9	政策類型論
10	現代日本における公共政策の現状（1）
11	現代日本における公共政策の現状（2）
12	現代日本における公共政策の現状（3）
13	現代日本における公共政策の現状（4）
14	現代日本における公共政策の現状（5）
15	まとめ